

## 要 旨

### 試験委託者

環境省

### 表 題

*p*-Dichlorobenzeneのヒメダカ(*Oryzias latipes*)に対する初期生活段階毒性試験

### 試験番号

92348

### 試験方法

本試験は、OECD化学品テストガイドライン No.210「魚類初期生活段階毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： *p*-Dichlorobenzene
- 2) 試験生物： ヒメダカ(*Oryzias latipes*)
- 3) 生物数： 60個体／1試験区(1連につき15個体で4連)
- 4) 暴露期間： 40日間(受精卵からふ化後30日まで)
- 5) 暴露方式： 流水式
- 6) 試験濃度： 1.60、0.800、0.400、0.200、0.100 mg/L(公比：2.0)、助剤対照区及び対照区
- 7) 連 数： 1試験区につき4連
- 8) 試験液量： 約1.8 L／試験容器
- 9) 試験水温： 24±1℃
- 10) 照 明： 室内光、16時間明／8時間暗
- 11) エアレーション： なし
- 12) 試験液中の被験物質の分析： 高速液体クロマトグラフィー(HPLC)  
(暴露0、7、14、21、28及び39日後)

### 結 果

- 1) 最小影響濃度(LOEC)=1.23 mg/L
- 2) 無影響濃度(NOEC)=0.601 mg/L  
(上記濃度は、全て測定濃度に基づく)